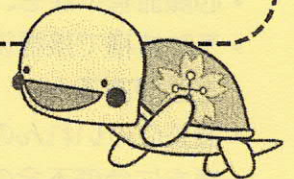


風しんの抗体検査・予防接種が 医療機関で無料で受けられます

- 妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんが「先天性風しん症候群」という病気にかかることがあります。
- 風しんの予防には、ワクチンを接種し免疫を獲得することが有効です。
- 風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。
- この機会にぜひ抗体検査を受け、抗体価が不十分な場合は
予防接種を受けましょう。



豊中市に住民票がある①～⑥に該当する人

- ① 妊娠を希望する女性
- ② 妊娠を希望する女性のパートナー（婚姻関係は問わない）
- ③ 妊婦のパートナー（婚姻関係は問わない）
- ④ 妊娠を希望する女性の同居人（親・きょうだい等）
- ⑤ 妊婦の同居人（親・きょうだい等）
- ⑥ 妊婦の里帰り先の家族（妊婦が市外在住でも可）

豊中市に住民票がある上記①～⑥の人で、抗体検査の結果抗体価が不十分であり、予防接種が必要と判断された人は麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）を接種

※抗体価が不十分な場合は、下記の数値相当の人です。

- ・HI法（希釈倍率）で16倍以下
- ・EIA法（EIA価）で8.0未満（国際単位で30IU/ml未満）
- ・他の検査方法のうち、上記検査数値相当の場合

※妊娠中の人（可能性のある人も含む）は接種できません。

※風しんの確定診断（血液検査等）を受けたことがある人、平成26年4月以降に豊中市の風しん予防接種費用助成制度を利用した人は本事業の対象から除きます。

※風しん第5期定期接種は令和6年度で終了しました。MRワクチンの供給不足等を理由にワクチン接種ができなかった人については、市ホームページにてご確認ください。

実施
期間

令和7年（2025年）4月1日(火) から
令和8年（2026年）3月31日(火)

実施
場所

市内の風しん助成事業取扱医療機関に予約して受診してください。
一覧表は市ホームページに掲載中です。

費用

無 料

受診時には、必ず住所が確認できる書類（免許証・健康保険証等）を持参してください。



詳細につきましては、必ず豊中市ホームページでご確認ください。

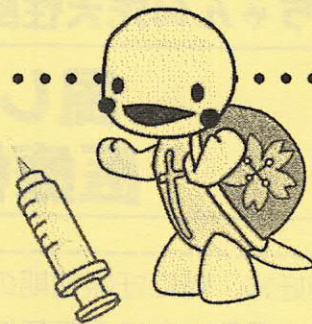
豊中市 風しん助成

検索

【問合せ先】

豊中市保健所 健康危機対策課
感染症対策係
〒561-0881 豊中市中桜塚4-11-1
電話：06-6152-7316
FAX：06-6152-7328

予防接種の前にお読みください



○予防接種を受けることができない人

- ・妊娠中または妊娠の可能性のある女性
- ・明らかに発熱がある人（体温が37.5℃以上の人）
- ・重篤な急性疾患にかかっている人
- ・本剤の成分によって、アナフィラキシーショックを起こしたことがある人
- ・現在、免疫機能に異常があったり、免疫機能を抑える治療を受けている場合（免疫抑制剤など）
- ・その他、医師が不適切な状態と判断した場合

○予防接種を受ける際、医師とよく相談しなくてはならない人

- ・心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患がある人
- ・予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた人及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある人
- ・過去にけいれんの既往のある人
- ・過去に免疫不全の診断がされている人および近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ・接種しようとする接種液の成分にアレルギーを呈するおそれのある人

○予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ・女性は予防接種後2か月間避妊が必要です。（男性は避妊の必要はありません）。予防接種を受けた人から周りの人に感染することはありません。授乳中に予防接種を受けても、乳児に風しんの症状が現れることはありません。
- ・接種後24時間は副反応の出現に注意しましょう。
特に接種後30分程度は、医療機関で様子を観察するか、医師とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。急な副反応（じんましん、呼吸困難などのアナフィラキシー様症状）がおこることがあります。
- ・接種後は、接種部位を清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすことはやめましょう。接種当日は過激な運動を避けるようにしましょう。
- ・接種後、接種部位の異常反応や体調の変化があれば、医師の診察を受けましょう。
- ・MRワクチンの接種後、ほかの生ワクチンを接種する場合には、接種した日の翌日から起算して27日間以上の間隔をあける必要があります。

○予防接種の副反応について

皮膚症状：注射部位のかゆみ、じんましん等が現れることがあります。

全身症状：発熱、頭痛、悪寒、違和感、倦怠感等が見られることがあります。

局所症状：接種部位の疼痛、発赤、腫れ、腋窩痛等が見られることがあります。

重篤な副反応：アナフィラキシー様反応、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれん等が現われることがあります。

！ 予防接種による健康被害救済制度について

予防接種により、予防接種を受けた人に健康被害が生じた場合、本市予防接種救済制度の範囲内で、市が補償を行います。

詳しくは豊中市保健所までお問い合わせください。